



学校だより

令和5年1月12日 上田市立第二中学校 No.9

3学期がスタートしました

新しい年が明け、県内では3季ぶりにインフルエンザの流行が発表され、新型コロナウイルスと共に今後の感染拡大が心配される状況での3学期スタートとなりました。昇降口での検温、消毒を徹底し、始業式は放送での実施となりました。

3学期は1年間のまとめの学期であるとともに、3年生にとっては大切な受験シーズンを迎えることとなります。再度、基本的な感染症対策を徹底し、校内の感染状況等に応じた対応を行いながら、3学期の教育活動を進めてまいりたいと考えております。本年も昨年と同様に本校教育活動へのご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

先賢問道處 活文禪師の生き方 ～校長講話より～

19世紀の日本。幕末から明治にかけて、外国との交易が始まり、それまでの生活や文化、価値観が変化し、これからどんな生活になるのか日本中が不安でいっぱいになった時代でした。そんな中で、新しく求める時代を様々な分野で方向を示した先人が上田に居ました。活文禪師です。「門弟千人」。彼のもとには、多くの若者が学びに訪れ、彼の残した考え方は、明治以降の政治・経済・文化・教育の世界に大きな影響を与えます。

活文禪師は、10歳の時に和田村の信定寺に預けられ、出家し24歳で禅宗の修行を終えます。45歳になった活文禪師は、神川村上青木の龍洞院の住職として迎え入れられます。しかし、学問の追究が何よりも好きだった活文禪師は、8年後、その職を弟子に譲り、神科村岩門の大日堂に「多聞庵」という寺子屋を開きます。多聞庵では、中国語・天文学など、今なら大学で学ぶような高度な学問を門人たちに教えました。活文禪師の評判を聞き、あちこちから学びたいという若者が増え、「門人千人」と呼ばれる学校となります。多聞庵での学習はその年齢や学力に応じた教え方をしていたようです。弟子たちの学びたい学問によってグループ分けをし、活文禪師を真ん中にして円になって座り学び合う、皆さんが行っている教室での学習のような形態だったそうです。4年後には岩門の多聞庵では手狭になり、常田村の毘沙門堂にその学び舎を移します。その中からたくさんの新しい時代を支える人が生まれます。佐久間象山、高井鴻山、山寺常山は「活文門下の三山」と呼ばれています。象山は、18歳で江戸に出て、私塾「象山書院」を開き、そこで学んだ吉田松陰や坂本龍馬などの多くの門人が、明治時代の基盤を創っていきます。鴻山は小布施の豪商の生まれで15歳から江戸や京都で学び、高井家の当主となってからも学問に情熱を燃やし、巨万の財力を惜しみなく使って幕末の変革にかかわります。「長野県を教育県に」と唱え、芸術の分野でも秀でた才能で、優れた作品を残したり、多くの文人を小布施に招いたりしました。常山は、18歳で藩主に仕え、その後郡奉公として藩主を支えます。「これからの時代は教育で人を育てなければならぬ」と長野県学校の設立に力を尽くし、その教育に後の人生を捧げます。

私たち明倫堂の先輩も、活文禪師に学んでいます。上田木町出身の赤松小三郎先生は、明倫堂・毘沙門堂で学び、そののち江戸に出てイギリス式兵学者の第一人者となります。また、江戸時代に「これからは選挙による議会制民主主義の政治を行うべきだ」という建白書を幕府に提出するなど、後の時代を見据えた日本の方向を示します。上野尚志先生は、学校教育が何か日本中が迷っていた明治時代に、その原型を明倫堂におき、いち早く学校教育を進めます。それは二中の基盤となります。活文禪師のもとには芸術家もいました。宮大工・彫名人と呼ばれた竹内八十吉は、国分寺など幕末から明治初期にかけての神社仏閣を建てた大工です。八十吉の彫った見事な彫刻は現在多くが県宝となっています。

江戸から明治、大きく時代が変わりました。それまでの価値観だけでは、きっと判断できない予測できない未来に不安がいっぱいの時代だったと思います。若者たちはその状況の中、今までの枠を越えた見識や情報を求めて、互いの意見を交わし合い、その理想を求めてもがいていました。その若者の欲求に応えてくれたのが活文禪師だったのではないかと思います。新しい時代に種をまいた活文禪師のもとで学んだ人々は、それぞれの分野で新たな時代を支えています。

私たちの未来は、先が見えないといわれています。しかし、その未来を創っていくのもここにいる私たちです。見えない不安を乗り越え、新たな時代を創ってきた先人の息吹がこの二中には残っています。皆さんが求めてきた二中の学校文化。それが、皆さんの創り出す未来の基盤になっていくのではないかと思います。

前期生徒会活動のまとめと引継ぎ 生徒総会

12月22日に、令和4年度前期生徒会の締めくくりとなる生徒総会が行われました。換気等の感染対策を講じて、全校生徒が一堂に会しての総会となりました。「創る～共に築く生徒会～」のスローガンのもと、共に考え、意見を出し合い一人一人ができることを考えながら進めてきた本年度の生徒会活動について、どの学年からもさらによい活動にしていく視点での意見や、課題への対策についての質問が出され、全校が一つ一つの活動に真剣に取り組んできたことが伝わってきました。また、目の前で出される質問に、よどむことなく堂々と答える委員長の姿がとても頼もしく感じました。これまで誇りをもち取り組んだ3年生の生徒会への思いを引き継いだ1・2年生が、これからどのような生徒会を創り上げてくれるか楽しみです。



令和5年度新役員の紹介も行われました

お願い

- ・県内でインフルエンザが流行しております。インフルエンザに罹患した場合の出席停止日数は「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」です（1月6日付家庭通知）。
「治ゆ届」は、出席停止期間終了後にご記入いただき提出をお願いいたします。
- ・学校敷地内への車の乗り入れにつきまして、十分ご配慮いただきますようお願いいたします。特に、冬期は積雪や路面凍結等で大変危険な状況ですので、出入口の安全確認、敷地内の徐行など十分ご注意ください事故等のないようにご協力ください。また、敷地内のカラーコーン設置場所には駐停車をご遠慮いただきますようお願いいたします。

<今後の予定>

※今後、「新型コロナウイルス感染予防」に伴い、日程や内容が変更される可能性もあります。変更の場合はその都度ご連絡しますので何とぞご了承ください。

- 1月16日（月）～20日（金）学校へ行こう週間
 - 16日（月）放課後学習教室（15:30～17:30）
 - 20日（金）漢検③
- 23日（月）放課後学習教室（15:30～17:30）
- 24日（火）中学校説明会
- 26日（木）～30日（月）公立前期選抜志願受付
- 30日（月）放課後学習教室（16:30～17:30）
- 31日（火）授業参観日 学年学級 PTA
- 2月
 - 2日（木）公立前期選抜試験①
 - 3日（金）公立前期選抜試験②
 - 6日（月）放課後学習教室（16:30～17:30）
 - 8日（水）3学期期末テスト①、3年総合テスト
 - 9日（木）3学期期末テスト②
 - 10日（金）公立前期選抜合格者発表
 - 13日（月）放課後学習教室（16:30～17:30）
 - 16日（木）地区生徒会④ PTA 総委員会・評議員会
 - 20日（月）放課後学習教室（16:30～17:30） 公立後期選抜志願受付～22日（水）

スクールカウンセラー来校日

<1月～3月>

- 1月26日（木）
- 2月15日（水）・27日（月）
- 3月9日（木）

時間 9:45～16:00

*相談の希望（生徒・保護者）がありましたら、担任または教頭までお申し出ください。